

(人を対象とする看護系研究に関する情報公開)

研究課題名	バリエーション分析を用いた食道切除術パスの質向上に関する研究
研究の意義・目的	本研究目的は、当院で 2024 年 12 月より導入された食道切除術の標準的な治療計画（以下、クリニカルパス）について、その運用の実際を記録・分析することです。入院中に、予定通りに進まなかった項目（以下、バリエーション。たとえば予定より食事開始が遅れた、合併症が生じたなど）があった場合には、その内容や原因を記録し、将来的にクリニカルパスの改善に役立てます。これにより、手術後の治療や回復の流れがより安全で効果的になり、患者さんにとって負担の少ない医療を提供することにつなげたいと考えています。
研究を行う期間	大阪公立大学医学部附属病院 看護部研究・倫理審査委員会の承認後～2026 年 11 月まで
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2024 年 12 月～2026 年 3 月の期間に当院消化器外科病棟に入院し、食道切除手術を受けた方
協力をお願いしたい 内容と研究に使 わせていただく試 料・情報等の項目	電子カルテに記録された以下の情報を使用させていただきます。なお、データは個人特定につながらないように加工し、厳重に保管します。 《収集する情報》入院日数、術後病棟帰室日、術後退院日数、退院延期理由、術前化学療法の有無、術前食事摂取の可否、術前 HbA1c、術前 PS、術前口腔ケア不良の有無、重症心不全の既往の有無、手術後合併症（手術部位感染症、縫合不全、反回神経麻痺、呼吸器合併症）の有無、バリエーション発生件数、バリエーションの内容、パス達成度
試料・情報の 他機関への 提供	本研究で得られた結果は、2026 年 11 月に開催されます第 26 回日本クリニカルパス学会学術集会にて発表予定です。
この研究を行って いる共同研究機関	ありません。
試料・情報を 管理する責任者	代表：大阪公立大学医学部附属病院 15 階東病棟（消化器外科） 友永祐貴(研究責任者)、前田茉央、安田彩里、野口孝宏
本研究の 利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
研究に協力を したくない場合	下記窓口へ連絡することで本研究への参加を辞退することが可能です。 辞退の意思を示した場合でも患者様が不利益を受けることはありません。完全に個人が特定できない形にして分析しますので、辞退の場合、データを一覧から除外することが可能な期間は 2026 年 4 月 15 日までとしています。それまでに意思表示された場合は、対応させていただきます。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 15 階東病棟（消化器外科） 電話：06-6645-3150 時間：平日 9：00～17：00 対応者：友永祐貴（研究責任者）、野口孝宏（師長） 15 階東病棟の電話番号ですので直通で連絡が可能です。対応者が不在の場合は、後日折り返しのご連絡をさせていただきます。